

いなべ市公共施設等総合管理計画に基づく

個別施設計画

(小学校・中学校施設)

令和3年11月

いなべ市

1 趣旨・目的

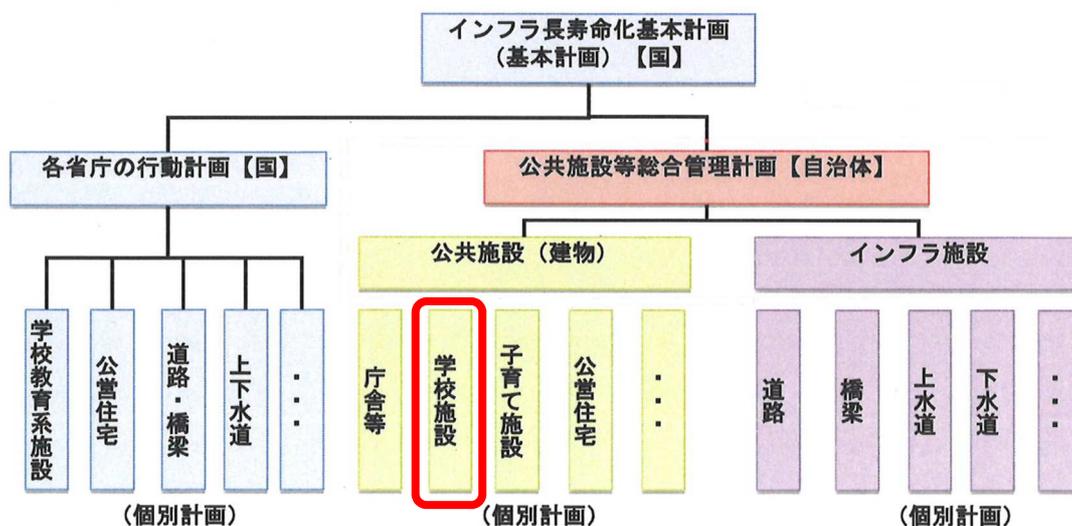
本市の学校施設は、築年数が20年以上となる施設が全体の48.5%、30年以上となる施設が全体の33.8%を占め、学校施設の老朽化が進んでおり、学校施設の約半数近くが大規模な改修工事又は建て替えが必要な状況となっています。

特に昭和50～60年代に建築された学校施設が6校あり築年数も40年を超過しようとしているため、一斉に大規模改造や建て替えなどの更新時期を迎えています。

そんな状況の中、これまでの事後保全型の管理から計画的な予防保全型の管理へ転換し、一斉に迎える改築・改修時期を分散し、中長期的な財政負担の平準化を図り、限られた財源により継続的に学校施設を維持していくため整備計画を定めます。

2 計画の位置づけ

いなべ市公共施設等総合管理計画（平成28年3月策定）に基づき、学校施設に関する個別施設計画として位置づけます。



3 計画期間

令和3年度（2021年度）から令和32年度（2050年度）までの30年間とします。施設の修繕等については、施設の老朽化状況等を定期的に確認し、実施します。また、本計画については、5年ごとに見直します。

4 対象施設

■ 小学校 ■

基準年：2021

No.	学校名	台帳 棟番号	建物区分	構造	階数	床面積 m ²	建築年月		築年数
							年	月	
1	阿下喜小学校	001	屋内運動場	S	1	831	S56	3	40
2	阿下喜小学校	002	校舎	RC	3	3,941	S56	7	40
3	治田小学校	018	校舎（普通教室）	RC	2	2,705	S58	8	38
4	治田小学校	019	校舎（特別教室）	RC	3	1,035	S58	8	38
5	治田小学校	020	校舎（ランチルーム）	RC	1	610	S58	8	38
6	治田小学校	013	屋内運動場	RC	1	812	S53	12	43
7	十社小学校	001	校舎	RC	3	2,922	S55	3	41
8	十社小学校	002	校舎	S	1	78	S55	3	41
9	十社小学校	003	屋内運動場	S	1	779	S57	3	39
10	山郷小学校	006	校舎（4年以下）	RC	2	954	S53	2	43
11	山郷小学校	010	校舎（高学年・特別教室）	RC	3	2,144	S60	3	36
12	山郷小学校	012	校舎（給食室）	RC	1	143	S60	3	36
13	山郷小学校	013	屋内運動場	S	1	919	H4	2	29
14	山郷小学校	014	校舎（特別教室）	RC	3	850	H10	2	23
15	員弁西小学校	008	校舎	RC	2	4,587	H21	1	12
16	員弁西小学校	009	屋内運動場	RC	2	1,417	H22	12	11
17	員弁東小学校	002	校舎（北側）	RC	3	1,765	H25	2	8
18	員弁東小学校	003	校舎（南側）	RC	2	1,431	H25	2	8
19	員弁東小学校	004	校舎（渡り廊下）	S	2	196	H25	2	8
20	員弁東小学校	010	校舎（特別教室）	RC	3	784	S62	2	34
21	員弁東小学校	012	屋内運動場	S	2	1,006	H15	2	18
22	笠間小学校	023	校舎	RC	2	3,268	H30	3	3
23	笠間小学校	024	屋内運動場	RC	2	1,059	H30	3	3
24	笠間小学校	025	渡り廊下（校舎-屋内運動場）	S	2	16	H30	3	3
25	三里小学校	003	校舎	RC	3	3,990	S62	7	34
26	三里小学校	005	屋内運動場	S	1	850	H3	4	30
27	石樽小学校	017	校舎	RC	2	5,527	H17	1	16
28	石樽小学校	019	地域・学校連携施設	RC	1	483	H17	1	16
29	石樽小学校	020	屋内運動場（地域連携棟含む。）	RC	2	1,328	H18	3	15
30	丹生川小学校	001-1	校舎（西館）	RC	3	734	S48	3	48
31	丹生川小学校	001-2	校舎（東館）	RC	3	1,105	S48	6	48
32	丹生川小学校	006	屋内運動場	S	1	605	S52	10	44
33	丹生川小学校	013	校舎（家庭科室）	RC	1	136	H6	10	27
34	藤原小学校	001	校舎	RC	2	2,577	H29	3	4

■ 中学校 ■

基準年：2021

No.	学校名	台帳 棟番号	建物区分	構造	階数	床面積 m ²	建築年月		築年数
							年	月	
1	北勢中学校	014	校舎（特別教室 北側）	RC	3	1,693	S62	3	34
2	北勢中学校	015	校舎（特別教室 南側）	RC	2	1,079	S62	3	34
3	北勢中学校	016	渡り廊下	RC	2	31	S62	3	34
4	北勢中学校	022	校舎（普通教室・管理）	RC	3	3,756	H13	7	20
5	北勢中学校	023	校舎（特別教室 西側）	RC	2	1,082	H14	2	19
6	北勢中学校	024	屋内運動場	RC	2	2,147	H14	3	19
7	北勢中学校	025	武道場	RC	1	329	H14	3	19
8	員弁中学校	015	校舎	RC	3	6,548	H3	12	30
9	員弁中学校	017	屋内運動場	RC	2	1,473	H5	12	28
10	員弁中学校	018	校舎（ランチルーム）	S	1	461	H23	3	10
11	大安中学校	012	技術室	S	1	272	H5	3	28
12	大安中学校	013	多目的ホール	S	1	183	H5	3	28
13	大安中学校	014	屋内運動場（武道場含む。）	RC	1	1,629	H5	5	28
14	大安中学校	018	校舎（1年普通教室）	RC	2	933	H26	3	7
15	大安中学校	019	校舎（2年普通教室）	RC	2	933	H26	3	7
16	大安中学校	020	校舎（3年普通教室）	RC	2	933	H26	3	7
17	大安中学校	021	校舎（管理・特別教室）	RC	2	3,800	H26	3	7
18	大安中学校	023	交流プラザ	RC	1	148	H26	3	7
19	藤原中学校	012	ランチルーム	S	2	665	H15	3	18
20	藤原中学校	013	校舎（普通教室・管理棟）	RC	3	3,690	H16	7	17
21	藤原中学校	014	校舎（特別教室棟・渡り廊下含む。）	S	2	1,810	H17	2	16
22	藤原中学校	016	屋内運動場	RC	2	1,895	H18	3	15
23	藤原中学校	017	武道場	RC	1	461	H18	3	15

■ 学校給食センター ■

基準年：2021

No.	施設名	台帳 棟番号	受配学校	構造	階数	床面積 m ²	建築年月		築年数
							年	月	
1	大安学校給食センター	018	員弁西小・員弁東小・笠間小・三里小・石樽小・丹生川小・員弁中・大安中	S	2	1,210	H8	3	25
2	藤原学校給食センター	001	藤原小・北勢中・藤原中	S	1	650	H15	3	18

■ 学校プール ■

学校プールについては、設置予定であるいなべ市市民プール（仮称）へ順次統合し、既設の学校プールを廃止していくため、建替えや大規模な改修工事は実施せず、部分修繕のみの対応とします。

No.	学校名	床面積（㎡）	建築年	築年数	市民プールへの機能移転予定年度	学校プール解体予定年度
1	阿下喜小学校	521	S44	52	令和6年度	令和6年度
2	治田小学校	398	S40	56	令和6年度	令和7年度
3	十社小学校	387	S43	53	令和6年度	令和8年度
4	山郷小学校	402	S44	52	令和6年度	令和9年度
5	員弁西小学校	400	H22	11	未定	未定
6	員弁東小学校	400	H25	8	未定	未定
7	笠間小学校	400	H22	11	未定	未定
8	三里小学校	355	H11	22	令和6年度	令和10年度
9	石樽小学校	420	H18	15	未定	未定
10	丹生川小学校	325	S51	45	令和6年度	令和10年度
11	藤原小学校	325	H29	4	未定	未定

5 学校施設整備の基本的な方針等

(1) 基本方針

【公共施設等総合管理計画の基本方針】

公共施設等総合管理計画の基本方針

公共建築物やインフラ施設の維持管理にあたっては、これまでの不具合が顕在化してから対応する手法（対処療法型管理）から、点検診断等の結果による劣化箇所の有無や兆候を早期に把握し対応する手法（予防保全型管理）への移行を図ることで、性能・機能の維持を図ることとする。

公共施設等総合管理計画の施設類型別方針【学校教育系施設】

学校教育系施設については、義務教育施設として児童生徒が過ごす場であることから、耐震改修の促進による施設の安全性確保を最優先に実施してきました。今後は、学校施設を長期的に使用できるよう、計画的な維持保全や長寿命化にむけた改修等に取り組むこととする。

【学校施設の長寿命化計画の基本方針】

予防保全型管理への転換

これまでの事後保全型管理から計画的な予防保全型管理への転換を推進し、学校施設の維持・更新コストの縮減を図ることとする。

また、改築・改修にあたっては、地域の拠点施設として他の施設との複合化・集約化も検討していくとともに、今後の児童生徒数の減少を見据え、学校規模の適正化を図り、真に必要な改修等に絞り更なるコスト縮減を目指すこととする。

中長期的な財政負担の平準化

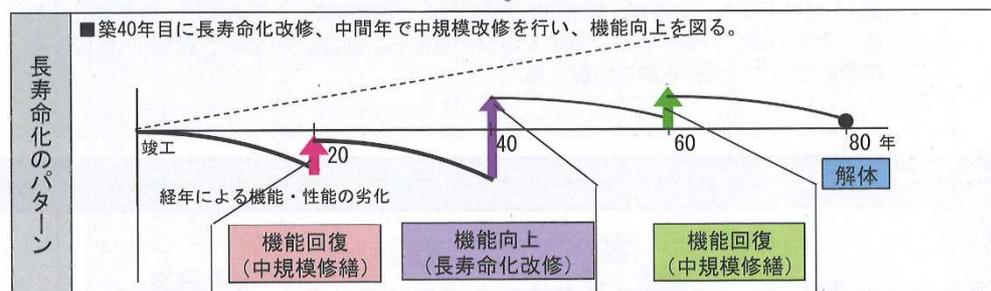
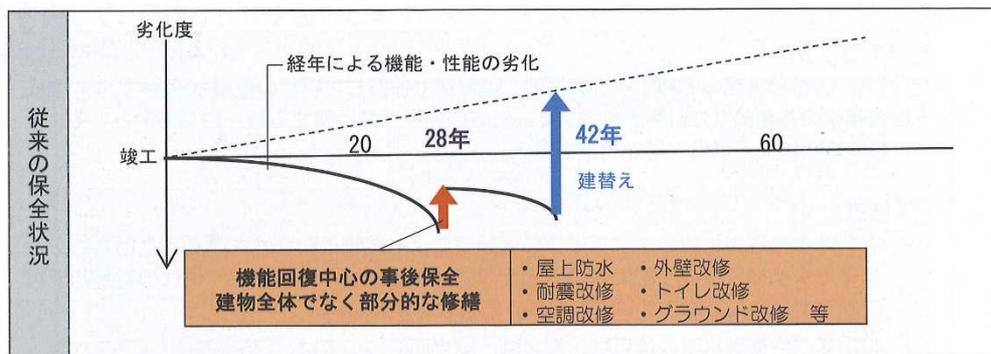
学校施設の改修等を計画通りに実施すると同時期に一斉に改修時期を迎えることとなるため、実施時期を調整することにより財政負担の平準化を図ることとする。

学校施設の目標耐用年数

長寿命化型の改修を実施することにより、建て替え時期をこれまでの建築後 50 年から建築後 80 年へと耐用年数を延ばすことにより更新コストの縮減を図ることとする。

(2) 改築・改修の考え方

管理方針	目標使用年数	大規模改造の周期	長寿命化改修の周期
従来型	築50年	築20~25年	-
長寿命化型	築80年	築20年/60年	築40年



参考：工事内容

築20年目 中規模修繕	築40年目 長寿命化改修	築60年目 中規模修繕
経年劣化による損耗、機能低下に対する機能回復工事	経年劣化による機能回復工事と、社会的要求に対応するための機能向上工事	経年劣化による損耗、機能低下に対する機能回復工事
<ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水改修 ・外壁改修 ・設備機器更新 ・劣化の著しい部位の修繕 ・故障・不具合修繕 	<ul style="list-style-type: none"> ・防水改修（断熱化） ・外壁改修 ・開口部改修 ・内部改修（床・壁・天井） ・設備改修 ・プール改修 ・グラウンド改修 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水改修 ・外壁改修 ・設備機器更新 ・劣化の著しい部位の修繕 ・故障・不具合修繕

(3) 設備・機器の整備・改修の重点事項

- ア トイレの洋式化
- イ 照明器具のLED化
- ウ 空調機器の設置・更新
- エ バリアフリー設備の整備

6 施設関連経費の推移

学校施設の維持・管理を行っていくための費用は、年々増加（前年度比約1.3倍）しております。

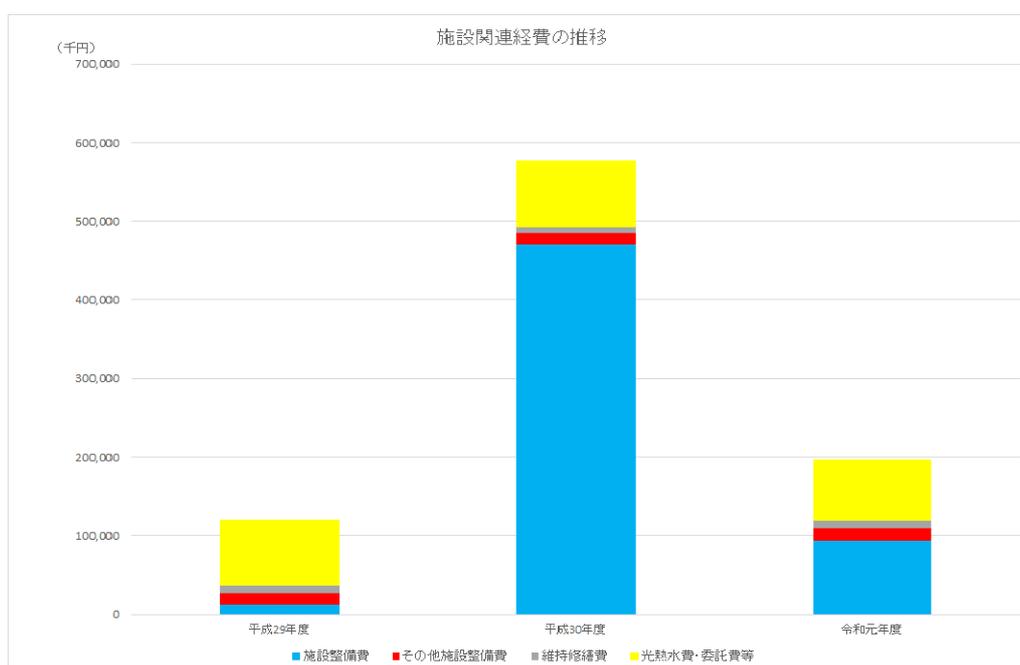
施設の老朽化に伴う修繕工事、近年の異常気象に対応するための空調設備の整備及び修繕など施設整備費が増加しております。

光熱水費・委託費等は横ばいで推移しているものの、施設関連経費の半分近くを占めていることから、学校設備の更新に合わせて省エネルギー化を進めていく必要があります。

■ 施設関連経費の推移

（単位：千円）

区分	H29年度	H30年度	R元年度	3年平均
施設整備費	12,164	470,355	93,283	191,934
その他施設整備費	14,860	14,474	15,643	14,992
維持修繕費	9,928	6,823	9,695	8,815
光熱水費・委託費等	83,385	85,322	78,047	82,251
施設関連経費合計	120,337	576,974	196,668	297,993



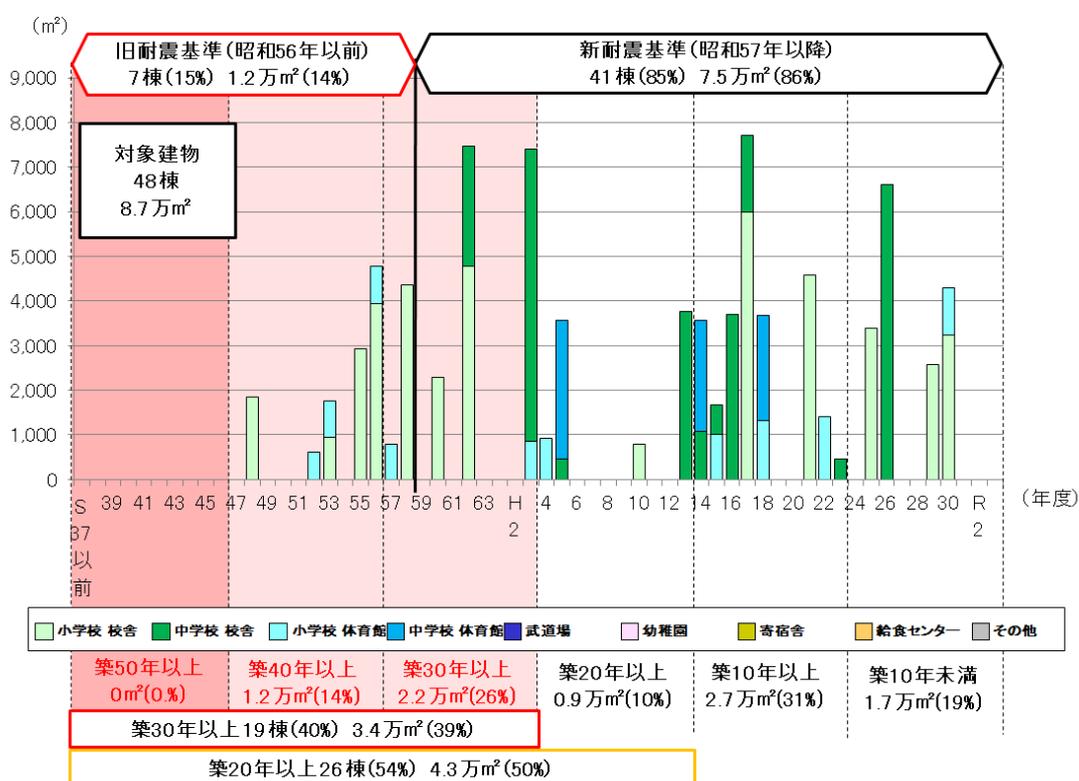
7 学校施設の保有量

本計画の対象施設のうち、旧耐震基準で建築されている建物（全て耐震診断及び耐震補強済み）が7棟（1.2万㎡）あり全体の約14%に相当します。

また、築30年を経過している建物は19棟あり全体の40%を占め、うち築40年以上を経過している建物が7棟あり、老朽化が進んでいる状況にあります。

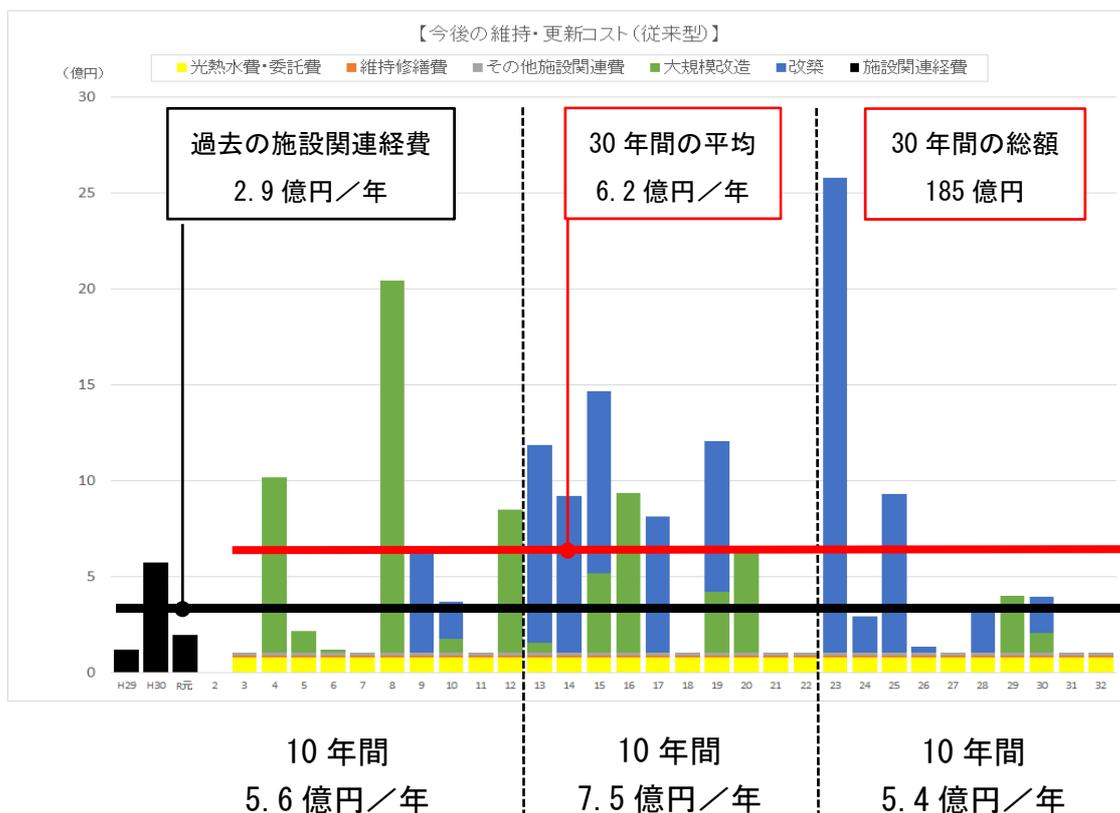
以上のことから、建物の劣化状況を把握した上で適切な対策を実施する必要があります。

築年別整備状況



8 今後の維持・更新コスト(従来型)

従来の維持管理方法では、建設から20年で大規模な改修を行い。建設から50年経過で建て替えを行っており、この維持管理方法による維持・管理コストを試算すると、令和3年度から令和32年度までの30年間で185億円(6.2億円/年)必要となる見込みです。



9 今後の維持・更新コスト(長寿命化型)

学校施設の維持管理方法をこれまでの事後保全型から計画的な予防保全型（長寿命化型）の管理へ転換することにより、令和3年度から令和32年度までの30年間で必要となる維持・更新コストは165億円（5.5億円/年）となり、19億円（0.6億円/年）の縮減が期待できます。

さらに、改築等の工事年度を調整し、維持・更新コストの平準化を図ります。

